

開館時間延長（夜間開館）試行終了について

【経緯】

平成30年第1回社会教育委員会議の中で、利便性を高めるため開館時間延長の検討を求める意見があり、令和元年11月から開館時間延長による利用拡大について検証してきたところです。利用状況分析のとおり、利用者が時間帯を選ぶことが出来るという点では利便性は向上したといえますが、特定の利用者の来館時間が分散しただけで新規利用者が増えた、全体の利用が増えたとは言えない状況です。

夜間開館は、職員の時差出勤により実施しているため、金曜日に学校の見学や職場体験が申し込みがあった場合、受け入れが困難な状況です。また、わくわく読書会等学校訪問事業や、除架除籍作業等書架整備の弊害にもなっている状況から、開館時間延長による費用対効果は低いと判断し、令和4年3月末を以て試行終了することと致しました。

【利用状況分析】

- ・夜間開館施行は令和元年11月から令和3年12月末までの期間、新型コロナウイルス感染防止のための休館等を除き合計89日間実施しており、利用状況は個人貸出131人、657冊、団体貸出12団体、181冊となっている。
- ・18時以降の貸出実績の1日平均を見ると、個人貸出は1.47人、7.38冊、団体貸出は0.13団体、2.03冊となっている。

	開館日数	18時以降貸出実績			
		個人貸出	貸出冊数	団体数	貸出冊数
R1年度	17日	12人	44冊	6団体	69冊
(1日平均)	—	0.71人	2.6冊	0.4団体	4.1冊
R2年度	44日	68人	369冊	4団体	75冊
(1日平均)	—	1.55人	8.4冊	0.1団体	1.7冊
R3年度	28日	51人	244冊	2団体	37冊
(1日平均)	—	1.82人	8.7冊	0.1団体	1.3冊
合計	89日	131人	657冊	12団体	181冊
(1日平均)	—	1.47人	7.38冊	0.13団体	2.03

- ・夜間開館試行については広報べつかいやホームページ、SNS、館内ポスター掲示、玄関前のノボリ等周知に努めているが、期待した程利用増には繋がっていない。

- ・社会教育委員の意見の中では、学校帰りの先生が6時閉館では利用がしにくいとの声があるとのことであったが、団体利用は期間中12団体、181冊（1日平均0.1団体、2.0冊）にとどまっており、実際の利用は土日が多い傾向にある。
- ・利用者の動向を見ていると、18時前から在館している場合、18時を若干超えた時間帯に本を借りて帰る方が多い傾向にある。借りる本を選ぶのに時間がかかっても18時以降に借りればよいと考えていると思われる。
- ・利用者の内訳をみると、新規利用者は試行期間を通して1人のみで、その方も1度だけの利用にとどまり、その後継続して図書館利用はしていない。利用のほとんどが、土日を含む通常開館の時間帯に利用していた方がたまに夜間開館を利用しているという状況である。継続した夜間開館利用者はいないが、利用者の利便性は向上したと言える。
- ・夜間開館施行時間帯の利用人数は下記のとおりとなっており、0人の日が39.3%、1人から2人の日が合計33.7%と2人以下の利用が70%を超えている状況である。
- ・5人以上の利用日を見ると、一番多かった日は新型コロナウイルス感染防止のため休館する前日がそれぞれ7人（R2.4/17）、8人（R3.5/14）となっている他、4人から5人の日も10日間あるが多くが親子連れの利用により利用人数増となっており、コンスタントに夜間利用者があるとは言えない状況である。

利用者数	0人	1人	2人	3人	4人	5人以上
R1年度	9日	5日	2日	1日	0日	0日
(年度毎比率)	52.9%	29.4%	11.8%	5.9%	0.0%	0.0%
R2年度	15日	14日	2日	6日	5日	2日
(年度毎比率)	34.1%	31.8%	4.5%	13.6%	11.4%	4.5%
R3年度	11日	4日	3日	5日	2日	3日
(年度毎比率)	39.3%	14.3%	10.7%	17.9%	7.1%	10.7%
合計	35日	23日	7日	12日	7日	5日
(合計比率)	39.3%	25.8%	7.9%	13.5%	7.9%	5.6%